

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

数 を 読 む

1 2 3

June - July 2022

こ ん な 本

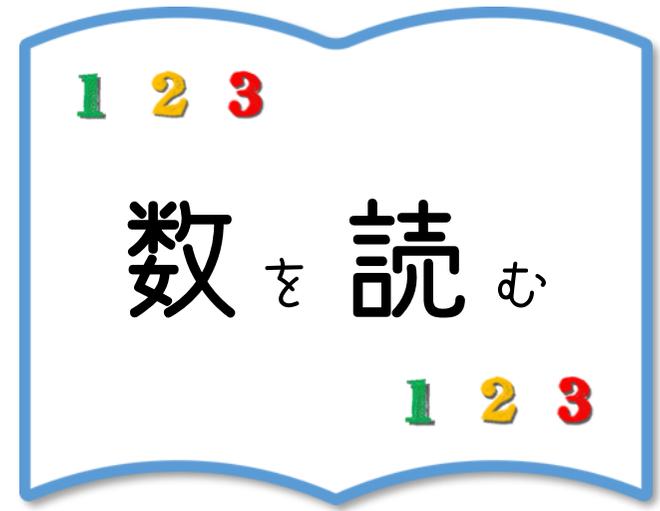


読 ん で み て

take free No. 95

目次

数を読む	1
Book design の世界 vol.25	10
ちょこちょこ日記 #35	12



『ふしぎなたね』

作者 / 安野光雅

出版社 / 童話屋

出版年 / 1992年

請求記号 / 726.6||A 49



ある日、男は仙人からふしぎなたねを2個もらいました。男は、仙人に言われたとおりに、ふしぎなたねを1個は食べて、1個は地面にうめました。すると…。絵本「美しい数学シリーズ」の一冊です。

■32ページ ■26×21cm

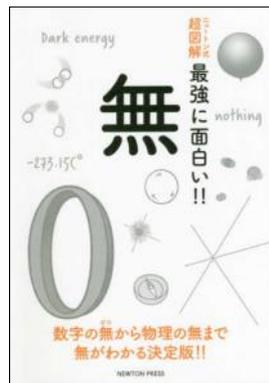
『ニュートン式 超図解 最強に面白い!! 無』

監修者／和田純夫

出版社／ニュートンプレス

出版年／2020年

請求記号／404||W 12



数字・空間・時空の三つの観点から「無」を紹介する一冊です。数字の0の歴史が分かりやすくコンパクトに説明されています。

■125ページ ■21×15cm

『0メートルの旅』

著者／岡田悠

出版社／ダイヤモンド社

出版年／2020年

請求記号／290.9||O 38



これまでに海外は70か国以上、国内は全都道府県を訪れた著者。家からの距離1600万メートル、南極から始まる、「旅とはなにか」を問うエッセイ。

■287ページ ■19×13cm

『みんなでつくる 1本の辞書』

文／飯田朝子

絵／寄藤文平

出版社／福音館書店

出版年／2015年

請求記号／815.2||I 26



鉛筆も牛乳も映画も1本。身の周りにある「1本」と数えるモノ・コトを集めた一冊です。1本の奥深さにきっと驚くはずです。

■47ページ ■26×20cm

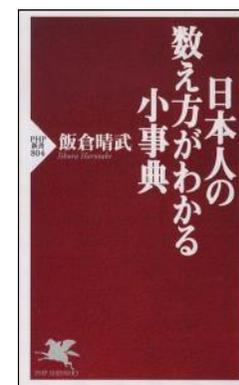
『日本人の数え方が わかる小事典』

著者／飯倉晴武

出版社／PHP研究所

出版年／2012年

請求記号／815.2||I 27

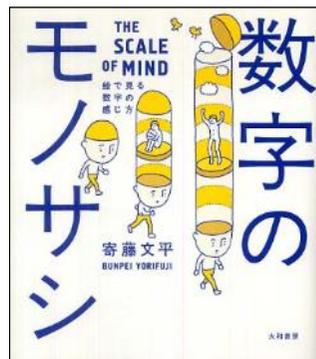


日本人の物の数え方・単位の歴史や由来がわかる一冊。中国から伝わった漢数字の発音は文化や都合に合わせ日本流に変わっていったと紹介されています。

■250ページ ■18×11cm

『数字のモノサシ』

著 者／寄藤文平
出版社／大和書房
出版年／2008年
請求記号／410.4||Y 84



大きな数字がイメージしにくい、そんなことはありませんか？この本では様々な数字が絵で表現されていて、楽しみながら数字を実感することができます。

■181ページ ■17×15cm

『番号は謎』

著 者／佐藤健太郎
出版社／新潮社
出版年／2020年
請求記号／049||Sa 85



電話番号、郵便番号、ナンバープレート…身の周りにあるたくさんの「番号」の起源と裏事情を知ると、「番号」の印象が違って見えるかもしれません。

■235ページ ■18×11cm

『「データセンス」の磨き方』

著 者／堀口智之
出版社／ベレ出版
出版年／2018年
請求記号／410||H 88



数字の意味をパッと把握することのできる「データセンス」を身につける方法を紹介する本書。日常に役立つ演習問題に取り組んでみませんか。

■229ページ ■19×13cm

『算数的思考法』

著 者／坪田耕三
出版社／岩波書店
出版年／2014年
請求記号／002||Is||1478



算数教育の第一人者による本書で、算数の問題を体験し、疑問を持ち、疑問に答える中で、思考が磨かれてきっと新しい発見につながることでしょ。

■xii, 159ページ ■18×11cm

『博士の愛した数式』

著者／小川洋子

出版社／新潮社

出版年／2003年

請求記号／913.6||O 24



80分しか記憶が続かない数学者の元へやってきた家政婦とその息子。数字や数学を介して、少しずつ心を通わせていきます。心温まる物語。2004年第1回本屋大賞受賞作。

■253ページ ■20×14cm

『世にも美しい 数学入門』

著者／藤原正彦, 小川洋子

出版社／筑摩書房

出版年／2005年

請求記号／410||F 68



数学者と作家による対談集。『博士の愛した数式』に登場した「友愛数」や「完全数」など、数学の美しさに触れることができます。

■173ページ ■18×11cm

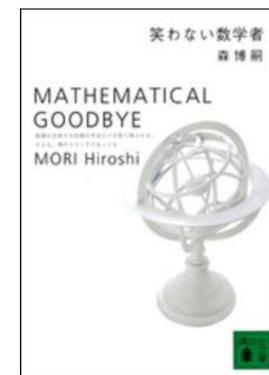
『笑わない数学者』

著者／森博嗣

出版社／講談社

出版年／1999年

請求記号／913.6||Mo 45



犀川助教授と西之園萌絵の理系師弟コンビが活躍する人気ミステリーシリーズ第3弾。天才数学者・天王寺博士の住む「三ツ星館」で起こった事件の謎に迫ります。

■484ページ ■15cm×11cm

『数学ガールの 秘密ノート 場合の数』

著者／結城浩

出版社／SBクリエイティブ

出版年／2016年

請求記号／410.4||Y 98



三人の数学ガールと「僕」の数学トークが人気のシリーズ。今回は「場合の数」をテーマに、登場人物と一緒に問題を考える過程を楽しむことができます。

■ix, 323ページ ■19×13cm

『解きたくなる数学』

著者 / 佐藤雅彦, 大島遼, 廣瀬隼也

出版社 / 岩波書店

出版年 / 2021年

請求記号 / 410 | | Sa 85



「ピタゴラススイッチ」の制作メンバーが作った数学問題集。チョコレートやチーズなど身近な物を使った問題は、思わず解きたくなってしまふものばかりです。

■133ページ ■24×16cm

『笑う数学』

著者 / 日本お笑い数学協会

出版社 / KADOKAWA

出版年 / 2018年

請求記号 / 410.4 | | N 71



数学ユニットによる数学ネタ100本入りのユニークな数学本です。数学をおもしろく捉える独特の視点がクセになります。

■204ページ ■19×13cm

『ぼくらは「数学」のおかげで生きている』

著者 / 柳谷晃

出版社 / 実務教育出版

出版年 / 2015年

請求記号 / 410 | | Y 53



気付きにくいけれど、日常の中の様々な場面で実は役に立っている数学。数学の面白さと、数学と自分とのつながりに気付くことができる一冊です。

■190ページ ■19×13cm

『スウガクって、 なんの役に立ちますか?』

著者 / 杉原厚吉

出版社 / 誠文堂新光社

出版年 / 2017年

請求記号 / 410.4 | | Su 34



文字がヘタ、方向オンチ…日常生活の困りごとは数学で解決! 数学の視点で生活に役立つ考え方が紹介されています。数学に親しみを感ぜられる本です。

■228ページ ■19×13cm

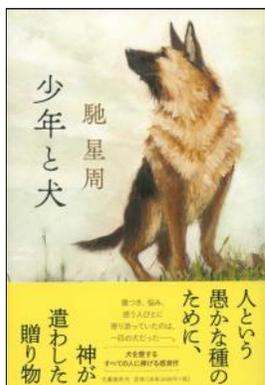
Book design の世界 vol.25 野中 深雪さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第25回目は、野中 深雪さんです。

今回は、野中深雪さんの装丁を紹介していきます。



装画：小田啓介
装丁：野中深雪

初めに紹介する『少年と犬』(馳星周著／文藝春秋／2020年／913.6||H 35) は、第163回(2020年)直木賞受賞作です。本を手にとると装画の筆遣いが感じられ、犬の繊細な表情にひきつけられます。見返しや扉に使われている用紙からも、犬の毛並みのようなあたたかさを感じます。

次に『昨夜のカレー、明日のパン』(木皿泉著／河出書房新社／2013年／913.6||Ki 97) をご紹介いたします。こちらは人気脚本家による小説です。クレヨンで描かれた装画に心が和みます。装画の黄色と合わせて、黄色のしおり紐が使われているのもポイントです。タイトルに使われているPOPなフォントが、作品のテンポのいい会話のイメージとぴったり合っています。



装丁：野中深雪
装画・本文イラスト：古谷充子



挿画：木原未沙紀
装丁：野中深雪

『木になった亜沙』(今村夏子著／文藝春秋／2020年／913.6||H 44) には、少し奇妙な愛を描いた3つの短編が収められています。木の板に描かれた不思議な生き物と赤い実が印象的な装画から、物語の雰囲気伝わってきます。中の扉に使われているイラストも魅力的です。

『笑うマトリョーシカ』(早見和真著／文藝春秋／2021年／913.6||H 47)。装画はjunaidaさんによるものです。装画に描かれた仮面の冷たい目や、朽ちている部分から不穏な空気を感じます。青年政治家の闇を描いたこの作品の雰囲気を盛り上げる装丁です。



装画：junaida
装丁：野中深雪



装画：牧野千穂
装丁：野中深雪

最後にご紹介するのは『タイムマシンに乗れないぼくたち』(寺地はるな著／文藝春秋／2022年／913.6||Te 42) です。ふとしたさみしさに寄り添ってくれるような短編集です。やわらかな印象の装画とタイトルとの対比によって、本への興味をかき立てられる装丁です。

今回ご紹介した野中深雪さんの手がけられた装丁は、物語の世界観や魅力が伝わってきて、読む前も読んだ後もじっくり眺めたいものばかりでした。

次回もお楽しみに！



ちょこちょこ日記 #35 「図書館と数」

今号では「数を読む」をテーマに本を紹介しました。

図書館で使われる「数」に、「日本十進分類法」というものがあります。本の背表紙に貼ってあるラベルに書いてある数字は、「日本十進分類法」で表された分類記号です。

「日本十進分類法」は、日本の多くの図書館で使われている図書分類法です。図書の主題となる知識を9区分し、1～9の数字を当て、全般的なものは0 総記とします。そこからさらに細分化していく分類法です。図書館の中では、この数字の順に本が並べられています。本を探す助けとなる「数」なのです。

『図書分類からながめる本の世界』（近江哲史著／日本図書館協会／2010年／010.8||J 55||16）という本では、0類から9類の分類に沿って本が紹介されています。図書館を歩きながら、棚をひとつひとつ順番に見ているような気持ちになって、本の世界が広がる一冊です。

参考文献：『日本十進分類法 新訂10版』

（もり・きよし原編／日本図書館協会／2014年／014.45||Mo 45）

次号 No.96 は、2022年8月発行予定です。

こんな本読んでみて No.95

2022年6月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>